



発行責任者
堤 敏博

【校長室より】

「寒中お見舞い申し上げます」

校長 堤 敏博

平成31年がスタートしました。3年生にとっては、この1ヶ月が飛躍的に伸長する期間です。2次試験、私立大学試験、准看資格試験等を迎えるその瞬間まで、自分を信じて、先生方を信じて、必死に努力してほしいと思います。

さて、以下、2学期の終業式で全校生徒に話をした内容の一部を紹介いたします。

数年前より、幕末から明治初期以来の激動の時代に入ったと様々なところで耳にします。AI（人工知能）の発達で社会構造が大きく変わり、社会が必要とする人材も大きく変化しているというのです。先日、サイエンス作家であり、サイエンスZEROのナビゲーターもされていた「竹内薫」さんの話を聞く機会がありました。その中に次のような話がありました。

「2045年（28年後）に技術的特異点が訪れると言われています。それは、『AIの考えていることを、人間が分からなくなる点』だそうです。AIが自分の存在に気づき、意識をもつのだそうです。そこで、そのAIがいいAIなのか、悪いAIなのか問題なのです。それまでに、いいAIを、例えばドラえもんや鉄腕アトムを作る必要があるのです。」と言われていました。

ただ、先日読んだ文献には「AIがそれ自身の意志で人間に害をなす可能性は非常に低いです。なぜならば進歩したAIにとって、人間は利害が対立する存在にはなりにくいからです。それよりも一部の人間がAIを用いて他の人間に害をなす可能性のほうがはるかに高いのです。人間の歴史を見ても、最先端の科学技術がいい目的のためにも使われたが悪い目的にも使われています。そうならないような倫理の規定が重要なのです。」とも書かれていました。

社会が変化しているのだから、学校の教育も自分自身も変化しないといけない。君たちは解の公式を覚えているでしょう。では、導き出せますか？これからは、丸暗記だけでは通用しない。丸暗記でAIには勝てないのです。考える力を身につけることが重要です。

そこで、「探究型学習」が注目されているのです。そして、高校の教育でその中心になっているのが「総合的な学習の時間（来年度から探究の時間になります）」であり、本校で言えば、バラモンプランです。正解のない問題に向き合い、探究することで、未来への想像力が引き出されるのです。

本格的に始まって3年目になりますが、その取り組みが評価され、このたび「キャリア教育優良校として文部科学大臣表彰」を受賞することになりました。全国の高校で37校しか受賞しない荣誉ある受賞です。君たちが取り組んでいるこのバラモンプランの活動が、キャリア教育における先進的な取り組みとして国が評価したのです。

ところで、竹内先生は、最後に「どんなに世の中が変わっても、学ぶ姿勢をもち続けていれば大丈夫」とも言われていました。君たちも、「学ぶ姿勢をもち続けること」を意識し、実行すれば大丈夫です。ただ、それを意識するとき大事なことは、「人と比べるのではなく、自分の中で何ができるようになったか、自分自身の中でどれくらい成長したか、どれくらい変化したか」だと思います。この1年間で、自分ができるようになったこと、成長したこと、変化したことをそれぞれ振り返ってください。人間足りないことだらけです。自分の中で成長し続けることが一番大事だと思います。

今年も、教職員一同、五島高校の生徒の指導に邁進いたします。今後ともよろしく願いいたします。

センター試験出陣式 (1月18日)

3学年主任 原口正志

センター試験前日の1月18日(金)に、センター試験出陣式が本校の軽スポーツ場で行われました。この日のために1・2年生が折り鶴やメッセージを準備してくれたことを、3年生はとても喜んでいました。感謝いたします。

出陣式では、校長先生から貴重なアドバイスをいただくことができました。また、生徒代表で決意表明をしてくれた3年5組の古里駿一君は、3年生の緊張を和らげながらも、センター試験に向けての士気を高める話をしてくれました。

センター試験当日は、受験生全員がベストを尽くして戦うことができました。これまで支えてくださった方々、本当にありがとうございました。これからも最後まで頑張ります。よろしくお願いたします。

国公立大学個別試験に向けて

進路主任 林田智宏

センター試験も終わり、特別編成授業が始まりました。2月25日(、26日)の国公立大学個別学力試験の前期日程、3月8日の中期日程、3月12日の後期日程、または私立大学の試験等に向けてそれぞれに頑張っているものと思います。試験場で立ち向かうのは一人ひとりの力ですが、そこにたどり着くのは五島高校に集う全員の力です。すでに進路先が決まっている人も、全く違う進路を歩もうとする人も、互いに高めあって、本番の試験では自信を持って臨めるようにしましょう。最後の最後までやりきる力…それこそが五高生の強みです。



「本物になる」

頑張れ、五高生！

交通講話

生徒指導部



去る1月15日(火)に、五島警察署 交通課課長の野口真吾様をお招きして、交通講話を行いました。講話では、自転車を運転する上で気を付けなければならないルールや、危険な自転車の走行で招く、予想外の危険性について学びました。生徒の中には、自転車通学生も多くいます。スタントマンの実際の事故を再現した映像や、反射板を用いた実験は、便利さと同時に自分たちの普段の生活に潜む危険性について深く考えることができたようです。この講話で学んだことを活かし、被害者にも加害者にもならないよう、これからの学校生活を送ってほしいものです。

バラモンブラン 活動報告

2年生のバラモンブランで活動をしている「島民・魚・観光客Win Win Win」班が、12月9日に福岡で行われた全国ユース環境活動発表大会(九州大会)において最優秀賞をいただきました。また、12月16日に東京で行われた若武者育成塾活動発表大会でも最優秀賞をいただきました。若武者育成塾では副賞として環境省を訪問する機会をいただきました。「島民・魚・観光客Win Win Win」では、五島市の漂着ごみ問題をテーマに研究に取り組んでいます。この班が作成した漂着ごみアートが、3月まで福江港2階に展示されていますので、どうぞ御覧ください。



部活動報告

〈百人一首かるた部〉

祝 大会14連覇 達成

1月10日(木)本校セミナーハウスにて第40回下五島地区高等学校百人一首大会が開催されました。この大会は、下五島地区の高校4校の代表生徒が百人一首を通して親睦を図る伝統行事です。本校からは百人一首かるた部の生徒6名が出場しました。

試合が始まると、選手達は集中し、狙った札を我先にと取る姿が各コートで見られました。試合終了後は、グループに分かれての生徒交流会が行われました。自己紹介をした後、他校の生徒とお菓子を食べながら交流を深めていました。

結果は、五島高校が3勝で優勝し、大会14連覇を果たしました。来年度もよい成績が残せるよう練習に励みたいと思います。応援宜しくお願いいたします。



〈美術部〉 2年 佐々野優香

九州大会(美術・工芸部門)に参加

私は全九州高等学校総合文化祭【鹿児島大会】美術・工芸部門に参加させていただき、多くのことを学ぶことができました。修学旅行と日程が重なったため、交流会Ⅱから遅れて参加しました。

展示されている作品は完成度が高く、今まで知らなかった技法をたくさん学び、とても刺激を受けました。交流会では、私と同じように美術が大好きで懸命に制作に取り組んできた高校生と制作を共にし、触れ合うことで、色々な面で成長することができました。作品講評会では、ミニチュア写真家・見立て作家の田中達也先生に私の作品を取り上げていただき、これからの制作への励みになりました。

今回このような経験ができたのは、大会スタッフである鹿児島県の高校生や先生のおかげです。支えてくださった全ての方々に感謝し、これからも美術部の仲間を大切にしながら努力していこうと思います。



〈吹奏楽部〉 五島吹奏楽祭 開催

12月22日(土)に福江文化会館にて五島吹奏楽祭を開催しました。今年39回目を迎えたこの演奏会は、五島市の小中高10校が集い吹奏楽の演奏をします。学校によっては吹奏楽部員7人の少人数もありますが、どの団体も力強い演奏をしてくださいました。生徒数減の影響もあり年々吹奏楽愛好者の人口も減っていますが、今後増えることを期待してこの演奏会を続けていきたいと思っています。

現在、五島高校吹奏楽部は部員24名で活動しています。年間を通して、多くの地域行事等で演奏させていただいています。私たちにしかできない演奏で、音楽の素晴らしさをお届けできたらと思います。今後もよろしくお祈りします。また、随時部員募集しています！

